

草津市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
令和 6 年度取組実績

1. 計画の概要

【目標】

平成 25 年度比で令和 12 年度に 50%以上のエネルギー起源CO₂を削減すること

【計画期間】

令和 4 年度から令和 12 年度までの 9 年間

【対象範囲】

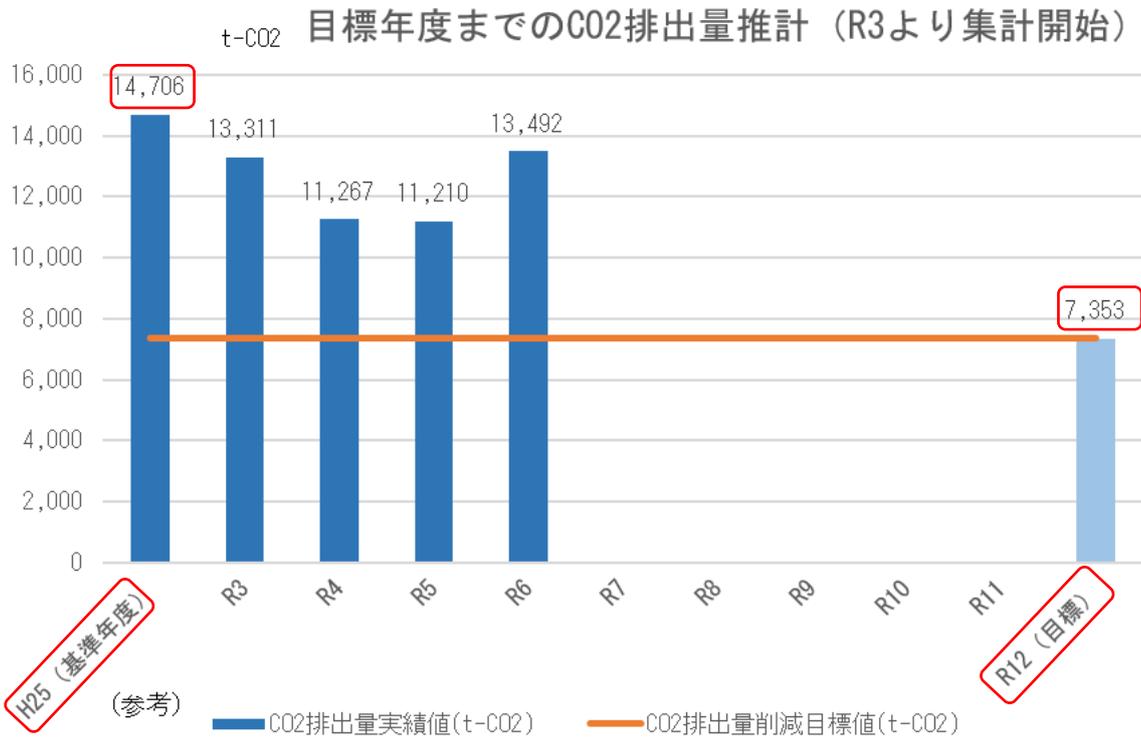
市管理施設において市が実施する事務事業

2. 令和 6 年度実績

【結果】 令和 6 年度エネルギー起源CO₂排出量 13,492 t-CO₂

【計画目標と令和 6 年度の実績値との比較】

年度	H25 「2013」	R6 「2024」
CO ₂ 排出量実績値「t-CO ₂ 」	14,706	13,492
対H25 年度比増減率（%）	基準年度	▲8.3



■分析

【令和6年度 市全体のエネルギー使用量と内訳】

エネルギーの種類		エネルギー使用量		差
		R6	R5	
合計エネルギー使用量 ※単位が統一されておらず、あくまで参考値		26,810,867	23,589,747	3,221,119
施設	電気 (kWh)	25,078,820	22,335,815	2,743,005
	ガス (m3)	1,518,269	1,047,980	470,289
	液体燃料 (L)	159,146	152,429	6,717
公用車	電気 (kWh)	4,205	4,536	▲331
	液体燃料 (L)	50,426	48,987	1,439

【令和6年度 市全体のCO₂排出量と内訳】

エネルギーの種類		CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)		R6構成比	(R5→R6)増減率	(R5→R6)増減値
		R6	R5			
エネルギー起源CO ₂		13,492	11,210	100%	20%	2,282
施設	電気	9,830	8,538	73%	15%	1,293
	都市ガス	3,039	2,087	23%	46%	952
	LPガス	108	90	1%	20%	18
	灯油	365	350	3%	4%	15
	軽油・BDF	16	16	0%	0%	0
	ガソリン	11	8	0%	36%	3
	重油	6	7	0%	▲11%	▲1
公用車	電気	0	0	0%	-	0
	都市ガス	0	0	0%	-	0
	軽油・BDF	11	10	0%	11%	1
	ガソリン	106	104	1%	2%	2

(備考) ※1%未満は切り捨て

※全体のエネルギー起源CO₂排出量のうち、各エネルギーの種類が占める割合を示したものの。

大部分を占めているのは電気と都市ガスであり、主に各施設の照明や空調等で使用されている。

上表のとおり、令和6年度は、ほとんどのエネルギーの使用量が令和5年度より増加し、これに伴いCO₂排出量も2,282t増加した。

主な要因として、令和6年度は、8月よりインフロニア草津アクアティクスセンター（以下、インフロニア草津）が供用開始したことや、猛暑であったため、各施設において熱中症対策として空調の使用頻度が増加したことがあげられる。加えて、エネットの排出係数（※）が増えたこともCO₂排出量の増加

要因となっており、今後、より一層の排出削減努力が必要とされる。

主な増加理由は、下記のとおり。

電気

【増】インフロニア草津（建設部） 2,641,340kWh 969,269 kg- CO₂ <純増>

昨年8月より供用を開始したため。

【増】YMITアリーナ（建設部） 90,031kWh 37,723 kg- CO₂ <24%増加>

機器故障の影響により空調等の電気使用効率が悪化したため、故障期間中の使用量が増加した。
また、猛暑やSVリーグの開催により空調使用時間が大幅に増加したため。

ガス

【増】インフロニア草津（建設部） 445,813 m³ 913,917 kg- CO₂ <純増>

昨年8月より供用を開始したため。（ガスコージェネレーションシステムを導入）

【増】各小中学校（教育委員会） 12,442 m³ 28,582 kg- CO₂ <15%増加>

各小中学校の体育館等に空調設備を順次導入し稼働したため。

液体燃料

【増】各所有施設 1,439L 3,295 kg- CO₂ <1%増加>

各所有施設において、公用車の利用が増えたため。

※排出係数……単位生産量・消費量あたりのCO₂排出量を表す数値。電気の場合、電力会社で1kWhの電気を作る際にCO₂をどれくらい排出したかを表す。

排出係数	関西電力	エネット
令和5年度	0.434	0.367
令和6年度	0.419	0.432

3. KEMS（草津市役所環境行動マネジメントシステム）

【エコオフィス行動（令和6年度重点取組）】

No.	重点取組項目
1	パソコンの使用について、長時間使用しない時には電源を切る。 また、帰宅時についてはコンセントを抜き待機電力の削減を行う。
2	ペーパーレスのため、可能な限り会議等へはパソコンを持参。
3	在庫品の確認、在庫品での対応についての検討を行い、不必要な物品等の購入は行わない。

重点取組項目について、相互点検を実施し、推進員間でエコオフィス行動重点取組項目の周知・推進の方法について議論した。また、エコオフィス行動についてワークショップ形式で話し合った。

【研修・点検・情報公開】

・研修

研修名（目的）	対象	実施日
システム研修 （システムの円滑な実施・推進）	KEMS推進員	令和6年4月24日の午前・午後、 4月26日の午前の計3回
自覚研修 （環境意識の向上、環境行動の実施）	全職員	令和6年8月27日から10月25日 までに各所属において実施

・点検

点検名（目的）	対象	実施日
相互点検 （運用課題の把握、情報交換等）	KEMS推進員	令和7年3月10日午前・午後の 計2回

・情報公開

公開手段	公開対象	公開内容
市ホームページ	全所属	年間の市全体のエネルギーの 種類、CO ₂ 排出量
グラフの掲示	市直営の施設	毎月のエネルギー使用量

4. 省エネ法（エネルギー使用の合理化等に関する法律）

省エネ法の規定により、事業者は『エネルギーの使用の合理化』と『電気の需要の平準化』に努めなければならない。その努力目標については、公道を走行する自動車に使用する燃料を除く、一年間の化石燃料由来のエネルギー使用量を『延べ床面積・ごみ処理量・浄水量』で除した**エネルギー消費原単位**が指標となる。ここでは、その原単位の推移を示す。

また事業者に対しては評価制度があり、努力目標を達成した事業者は、優良事業者として経産省ホームページで公表される。一方、未達成かつ直近2年連続で原単位が増加しているなど、省エネが停滞・不十分な事業者に対しては指導が行われる。

【努力目標】エネルギー消費原単位（※）の前年度比増減率が、過去5年度平均で1%以上の低減

※……各種エネルギーがどれだけ効率良く生産に使われたかを見るための指標。以下のように定義される。

$$\text{エネルギー消費原単位} = (\text{エネルギー使用量}) / (\text{エネルギー量と密接な関連を持つ値})$$

① 市長部局

令和6年度は、過去5年度で平均2.4%の増加であり、努力目標の達成に至らなかった。

【主な理由】

インフロンア草津の供用開始と、極端に暑い日・寒い日が多く各施設において空調稼働時間が増加したことにより、施設の延べ床面積あたりの電気使用量およびガス使用量が大幅に増加したため。

対象施設等	エネルギー原単位 (kℓ/各値) の増減率の推移 (%)					原単位算出に用いる値
	R3	R4	R5	R6	平均	
市長部局	▲ 5.6	1.2	▲ 3.6	19.6	2.4	延床面積 (㎡) /ごみ処理量 (t) /浄水量 (千㎡)

※平均は5年間の対前年度比を乗じた結果の累乗根から算出。

② 教育委員会部局

令和6年度は、過去5年度で平均2.5%増加であり、努力目標の達成に至らなかった。

【主な理由】

猛暑により、気温の高い期間が長かったことで、小・中学校、その他施設において、空調の使用頻度および使用期間が長くなったため。また、小・中学校の体育館等に順次、空調設備を整備したことも一因として挙げられる。

対施設等	エネルギー原単位 (kℓ/各値) の増減率の推移 (%)					原単位算出に用いる値
	R3	R4	R5	R6	平均	
教育委員会部局	2.4	8.9	▲2.2	1.4	2.5	延床面積 (㎡)

※平均は5年間の対前年度比を乗じた結果の累乗根から算出。